

手をつなごう2009

平成21年9月8日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 4

公開講座 終わる！

2学期が始まりました。現在、日本全国で
新型インフルエンザの感染拡大が心配されて
います。健康管理には、お互いに十分気をつ
けたいものです。

今回は、夏休みに開催しました公開講座の報告をさせていただきます。

講座1：「障害者自立支援法の現状と地域支援のあり方」

＜講師＞倉敷地域生活支援センター 中尾 浩二郎 所長 （参加者 93名）



講演の中では、センターが行っている事業や具体的な
相談事例から障害保健福祉施策の改革のポイント、県内の
自立支援協議会の設置状況まで、大変幅広い内容を詳し
い資料と映像で分かりやすく語っていただきました。

参加者からは、具体的な内容で分かりやすかった、

**熱意のある支援の実際を知り
感動した**という声が多く寄せられました。

（ 講座 1 ）

講座2：「発達障害の理解と支援～診察室から見てくるもの～」

＜講師＞岡山市こども総合相談所 医療副専門監 壺内 昌子 先生

（参加者296名）

広汎性発達障害やADHDの脳の理解、薬物療法など医療の側面から語っていただきました。
発達障害の特性と対応を知って、今の問題に将来を見通してかかわることの大切さを教えていた
だきました。「とても苦手なことにはサポート、ちょっと苦手なことには励まし、得意なことに注目、
執着していることには制限」ということばが印象的でした。参加者からは、教育でできることと医
療でできることが違うことがよく分かった、薬物療法についての知識を深めることができたなどの
感想が聞かれました。

「診断は支援のためにする」

壺内先生の言葉が印象に残る講演でした。



（ 講座 2 ）